

「伊藤整『日本文壇史』に描かれた近代文学の誕生
—明治初年代から二十年代までの文学— 展示資料一覧

例)

番号	書影	著者名
		書名
		出版年
		出版社

1. 伊藤整と『日本文壇史』

1		伊藤整
		『日本文壇史』 第1巻～18巻
		昭和27(1952)～昭和44(1969)年
		講談社
2		伊藤整
		『雪明りの路』
		大正15(1926)年
		椎の木社
3		伊藤整
		「ロレンス選集」第1, 2巻 『チャタレイ夫人の恋人』 上下
		昭和25(1950)年
		小山書店
4		伊藤整
		『裁判』
		昭和27(1952)年
		筑摩書房
5		小林多喜二
		『不在地主』
		昭和5(1930)年
		日本評論社

2. 『日本文壇史』に描かれた明治初期

6		仮名垣魯文
		『安愚楽鍋』
		明治4-5(1871-72)年
		誠之堂
7		成島柳北
		柳橋新誌
		明治7(1874)年
		山城屋政吉
8		『群像』 「日本文壇史」第一回掲載誌
		昭和27(1952)年1月新年特大号
		講談社

3. 坪内逍遙『小説神髓』の登場

9		つぼうちしょうよう 坪内逍遙
		いちどくさんたんとうせいしよせいかたぎ 『一蘭 当世書生気質』
		明治18-19(1885-86)年
		晩青堂
10		坪内逍遙
		小説神髓
		明治18-19(1885-86)年
		松月堂
11		坪内逍遙
		きりひとは 『桐一葉』
		明治29(1896)年
		春陽堂
12		ふたばていしめい 二葉亭四迷
		『浮雲』
		明治20-22(1887-89)年
		金港堂
13		二葉亭四迷
		そのおもかげ 『其面影』
		明治40(1907)年
		春陽堂

4. 『小説神髓』の影響と幸田露伴の登場

14		おざきこうよう 尾崎紅葉
		『三人妻』
		明治25(1892)年
		春陽堂
15		尾崎紅葉
		たじょうたこん 『多情多恨』
		明治30(1897)年
		春陽堂
16		尾崎紅葉
		こんじきやしや 『金色夜叉』
		明治31-36(1898-1903)年 未完
		春陽堂

17		こうだろはん 幸田露伴
		つゆだんだん 『露団々』
		明治23(1890)年
		金港堂
18		幸田露伴
		おのはなしゆう 『小説 尾花集』
		明治25(1892)年
		青木嵩山堂

5. 次世代の作家たち—透谷・藤村・花袋の上京

19		島崎藤村
		『藤村詩集』
		明治37(1904)年
		春陽堂
20		島崎藤村
		『破戒』
		明治39(1906)年
		上田屋
21		島崎藤村
		『春』
		明治41(1908)年
		上田屋
22		たやまかたい 田山花袋
		『第二軍従征日記』
		明治38(1905)年
		博文館
23		田山花袋
		『東京の三十年』
		大正6(1917)年
		博文館